

臨地実習 (老年看護学 / 教育・研究コース)

[実習] 1年 後期 必修 90時間 2単位

《担当者名》○山田 律子 [rich@hoku-iryo-u.ac.jp] 船橋久美子 [kumi-funahashi@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

高齢者の生活史、価値観や意向について傾聴し、老年期を生きる人の理解を深める。老人看護専門看護師のシャドーイングや活動への参画を通して、地域特性や組織特性を活かした老年看護の展開方法や、多職種協働による活動のあり方について考究する。

【学修目標】

- 1) 高齢者の生活史や価値観、過去・現在・未来に対する意向について傾聴し、老年期を生きる人の理解を深めることができる。
- 2) 老人看護専門看護師のシャドーイングや活動への参画を通して、地域特性や組織特性を活かした老年看護の展開方法について自己の考えを述べることができる。
- 3) 高齢者と家族を取りまく保健・医療・福祉システムについて学びを深めると共に、多職種協働による活動のあり方について考究することができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	実習課題	1. 老年期を生きる人の理解を深める。 2. 外来・病棟もしくは施設において、地域特性や組織特性を活かした老年看護の展開方法について自己の考えを述べるができる。 3. 高齢者と家族を取り巻く保健・医療・福祉システムについて学びを深め、多職種協働による活動のあり方について考究できる。	山田 船橋
	実習方法	1. 高齢者1人を受け持ち、価値観や過去・現在・未来に対する意向を傾聴し、老年期を生きる人の理解を深める。 2. 外来・病棟もしくは施設において、老人看護専門看護師のシャドーイングや活動への参画を通して、実地域特性や組織特性を活かした老年看護の展開方法について学び、実習カンファレンスや実習レポートにおいて自己の考えを述べるができる。 3. 高齢者と家族を取りまく保健医療福祉システムを把握し、外来や病棟もしくは施設における多職種協働による活動への参加を通して、その活動のあり方について考究する。	山田 船橋
	実習場所	施設：砂川市立病院または介護老人保健施設あつべつ	山田 船橋
	実習期間	2週間。日程は実習課題等に応じて決定する。	山田 船橋

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

実習課題の達成状況60%、課題レポート40%を総合して評価する。

【教科書】

山田律子・内ヶ島伸也(2025). 生活機能からみた老年看護過程 第5版. 医学書院.

【学修の準備】

1. 実習課題を明確にして実習計画を立て、教員との調整のもとに実習施設を決定すること。
2. 実習に際しては、毎日、実習内容を振り返ると共に、翌日の行動計画を立案して実習に臨むこと。

3. 看護を提供するために、根拠となる知識を事前に調べた上で実習に臨むこと。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、看護学における高度な専門性と研究能力を修得するという看護学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。